

さよならショイブレ

発表日：2017年9月28日(木)

～ドイツはあくまで規律重視～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

◇ ドイツのショイブレ財務相が退任する可能性が高まった。次期政権では連立を組むとみられるリベラル政党出身の財務相が誕生する可能性が高い。規律重視の財政運営はショイブレ氏の路線を踏襲することになるが、ユーロ圏の財政危機対応では従来以上に厳しい姿勢で臨む可能性がある。

ドイツのショイブレ財務相が連邦議会議長への就任に同意し、財務相を退くことが報じられている。メルケル首相が率いるキリスト教民主・社会同盟（CDU・CSU）は、24日の連邦議会選挙の結果を受け、リベラル政党の自由民主党（FDP）、環境政党の緑の党（Grüne）との連立政権の発足を目指している。FDPと緑の党の間では、エネルギー政策、規制緩和、税制など多くの政策分野で相違があり、連立協議の難航が不安視されている。内閣の最重量級ポストである財務相を巡っては、FDPが関心を示していると伝えられるが、メルケル首相はショイブレ財務相の留任を主張するとの見方が一般的であった。

選挙戦直後の早いタイミングでショイブレ氏の財務相退任の話が浮上したが、このことは連立協議が予想以上に早く進んでいることを意味する訳ではない。現職のランメルト連邦議会議長が政界引退を発表し、今回の議会選に出馬しなかったため、次期議長の人選を早急に進める必要があるためだ。ドイツ政界では排外主義的な新興右派政党・ドイツのための選択肢（AfD）が連邦議会に初の議席を獲得したばかりか、事前の世論調査を上回る支持を獲得し、第3党となったことに危機感が広がっている。最重鎮議員で広く尊敬を集めるショイブレ氏を議会議長に配することで、AfDの影響力を封じ込める狙いがあるのだろう。加えて、空席となる財務相ポストを今後の連立協議の交渉材料とする意図も透けてみえる。

次期議会は投票から30日後の10月24日までに召集され、それまでに連立協議が終了している可能性は低い。今回の選挙では、CDUの姉妹政党バイエルン州のみで活動するCSUの苦戦も目立った。ドイツ南部に位置する同州は2015年の難民危機時にオーストリアからの主要な難民の流入ルートとなり、州民の難民問題への関心が高い。また、同州は大手自動車会社の本店所在地を抱え、ディーゼル規制の強化に反対の立場を採る。CSUは難民危機対応ではCDUと、環境政策を巡っては緑の党と意見相違がある。

過去の連立政権では、連立参加政党の獲得議席に応じて閣僚ポストを配分してきた（表）。3党の獲得議席の割合は、CDU・CSU（ここでは姉妹関係の両党を1つの党としてカウント）が63%、FDPが20%、緑の党が17%となる。現政権と同じ16の閣僚ポスト（首相を含む）を用意する場合、CDU・CSUに10閣僚ポスト（うち1つが首相）、FDPと緑の党に各3閣僚ポストが配分される計算となる。獲得議席が多いFDPに副首相ポスト（閣僚ポストと兼務）が渡り、両党の重点政策を考えると、FDPに経済・デジタル担当相、緑の党に環境相が宛がわれるとみられる。

長年、左右両政権の連立に加わってきたFDPは、外相、経済相、司法相などのポストに就くケースが

多いが、第4次アデナウアー政権（1961年）、第5次アデナウアー政権（1961～62年）、第1次エアハルト政権（1962～1963年）、第2次エアハルト政権（1963～65年）では財務相ポストに就いたことがある。この場合、財務相とともに最重量級ポストの外相は、連立内のバランスを考慮して、緑の党に配分される可能性がある。緑の党が連立政権に加わった第一次シュレーダー政権（1998～2002年）と第二次シュレーダー政権（2002～2005年）では、外相と環境相ポストが配分された。

シュオイブレ財務相は欧州債務危機時の財政救済での厳しい態度で知られるが、同時にCDU内きっての親EU派の政治家でもある。次期政権でFDP出身の財務相が誕生した場合、ドイツの財政運営やユーロ圏の財政危機対応に変化は現れるのだろうか。FDPは親EU路線を採るが、非救済条項の厳格運営によるユーロ圏の安定化を目指している。財政救済基金（ESM）やECBの国債購入策（OMT）の廃止、財政規律違反国への厳格な制裁発動、財政不安国の秩序立った債務再編、ユーロ圏からの秩序立った離脱手順の導入などを求めている。財政規律重視型の財政運営はシュオイブレ氏の路線を踏襲することになるが、ユーロ圏の財政危機対応では従来以上に厳しい姿勢で臨む可能性がある。

（表）第二次大戦後のドイツの連立政権と閣僚ポストの配分

政権発足日	連邦首相	連立参加政党 (赤字が連立主導政党)	閣僚ポスト			連立政権 の議席に 占める連 立パート ナーの割 合 (%)	連立政権 の議席に 占める連 立パート ナーの割 合 (%)
			全体	連立主導 政党	連立パー トナー		
1949/9/20	アデナウアー①	CDU/CSU、FDP、DP	15	11	4	26.7	33.2
1953/10/20	アデナウアー②	CDU/CSU、FDP、故郷、DP	22	16	6	27.3	31.5
1957/10/29	アデナウアー③	CDU/CSU、DP	18	16	2	11.1	5.8
1961/11/14	アデナウアー④	CDU/CSU、FDP	21	16	5	23.8	21.1
1962/12/14	アデナウアー⑤	CDU/CSU、FDP	21	16	5	23.8	21.1
1963/10/17	エアハルト①	CDU/CSU、FDP	22	18	4	18.2	21.1
1965/10/26	エアハルト②	CDU/CSU、FDP	22	18	4	18.2	16.6
1966/12/1	キージンガー	CDU/CSU、SPD	20	11	9	45.0	46.4
1969/10/22	ブランド①	SPD、FDP	16	13	3	18.8	11.6
1972/12/15	ブランド②	SPD、FDP	18	14	4	22.2	14.8
1974/5/17	シュミット①	SPD、FDP	16	12	4	25.0	14.8
1976/12/16	シュミット②	SPD、FDP	16	12	4	25.0	15.2
1980/11/5	シュミット③	SPD、FDP	17	13	4	23.5	19.1
1982/10/4	コール①	CDU/CSU、FDP	17	13	4	23.5	18.6
1983/3/30	コール②	CDU/CSU、FDP	19	16	3	15.8	12.1
1987/3/12	コール③	CDU/CSU、FDP	20	16	4	20.0	17.0
1991/1/18	コール④	CDU/CSU、FDP	20	15	5	25.0	19.8
1994/11/17	コール⑤	CDU/CSU、FDP	18	15	3	16.7	13.8
1998/10/27	シュレーダー①	SPD、緑	16	13	3	18.8	13.6
2002/10/22	シュレーダー②	SPD、緑	14	11	3	21.4	18.0
2005/11/22	メルケル①	CDU/CSU、SPD	16	8	8	50.0	49.6
2009/10/28	メルケル②	CDU/CSU、FDP	16	11	5	31.3	28.0
2013/12/17	メルケル③	CDU/CSU、SPD	16	11	5	31.3	38.3
?	メルケル④	CDU/CSU、FDP、緑	16	10	6	37.5	37.4

注：政党の略称は次の通り。CDU：キリスト教民主同盟、CSU：キリスト教社会同盟、SPD：社会民主党
FDP：自由民主党、緑：90年同盟・緑の党、DP：ドイツ党、故郷：故郷被追放者・権利被剥奪者ブロック
出所：各種資料より第一生命経済研究所が作成

以上